

# 令和6年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 8校

令和5年8月

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考
公立	下関市立大学	データサイエンス学部 データサイエンス学科	80	山口県下関市	公立大学法人 下関市立大学	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見への対応において、本学が掲げるアドミッション・ポリシー「(A) データサイエンスを学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ数学及び外国語の知識」を重点的に測定、評価するため、一般選抜においては「大学入学共通テスト」の「数学①」及び「数学②」が必須教科であることが示された。「数学②」には「情報関係基礎」が科目として含まれているが、本学科の開設2年目となる令和7年度以降の大学入学共通テストでは同科目は廃止され、新たな科目として「情報Ⅰ」が出題されるなど、新しい学習指導要領に対応した試験となることが予定されていることから、令和7年度以降の入学選抜において、「情報Ⅰ」をどのように活用するのかについて、アドミッション・ポリシーも踏まえた上で、高校生などの受験生や保護者、高等学校等が十分に理解して対応できるようなあらかじめ明確に示しておくこと。</p> <p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見への対応において、本学が掲げるディプロマ・ポリシー（B）に新たに「データを分析・活用」することを加えるとともに、データの分析手法及び技術の修得を目的とする授業科目「データ分析演習」が新たに配置されたが、「データ分析演習」が「実務として活用するデータを分析し、活用する能力を身に付ける」ための分析手法及び技術の修得を目的としていると説明されていることから、本学科が想定している実務分野である「ビジネス分野」や「ヘルス分野」におけるデータ分析との関連を理解しながら学修することができるよう、演習内容を工夫することが望ましい。</p> <p>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項 経済学部 経済学科〔定員減〕 (△40) 国際商学科〔定員減〕 (△40) ※改正後の大学設置基準による学部等の設置</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p>
公立	周南公立大学	人間健康科学部 スポーツ健康科学科 看護学科 福祉学科  情報科学部 情報科学科	80 80 60  100	山口県周南市	公立大学法人 周南公立大学	<p>・補正申請において提出された書類のうち、「基本計画書（別記様式第2号（その1の1）」）の記載が同年度の設置認可申請を行っている「人間健康科学部」の設置に関するものとなっている。このため、補正申請において提出された新旧対照表における変更点を、補正前の基本計画書に適切に反映すること。なお、設置認可後に用いる設置認可申請書類の公表用資料においても、当該基本計画書を適切に修正したものを用いること。（情報科学部情報科学科）</p> <p>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p>	<p>遵守事項 経済学部（廃止） 現代経済学科 (△80) ビジネス戦略学科 (△150) ※令和6年4月学生募集停止 福祉情報学部（廃止） (△50) 人間コミュニケーション学科 ※令和6年4月学生募集停止</p> <p>遵守事項</p>

区分	大学等名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
2	(周南公立大学)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間健康科学部看護学科）</li> <li>・福祉情報学部人間コミュニケーション学科の収容定員未充足の是正に努めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> </ul>	
3	私立 麗澤大学	工学部 工学科	100	千葉県柏市	学校法人 廣池学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見への対応において、「機械工学基礎」を「機械工学基礎Ⅰ」とした上で、これに加えて「機械工学基礎Ⅱ」を必修科目として新たに配置することにより、機械工学の四力学（材料力学、機械力学、流体力学、熱力学）に関する知識を身に付けることができる計画に改められた。一方で、「機械工学基礎Ⅱ」には「圧縮性流体力学」や「トライボロジー」など、基礎的な学びの範疇（はんちゅう）を超えた発展的な授業内容が含まれていると見受けられる。「機械工学基礎Ⅰ」及び「機械工学基礎Ⅱ」が「機械工学の基礎を学ぶ」ことを目的とした授業科目であることを踏まえて、機械工学やロボットシステムの基礎をなす四力学の重要項目を学生が確実に修得できるよう、授業内容を工夫することが望ましい。</li> <li>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見への対応において、実習等に使用する実験・実習室や、実験・実習室に配備する設備・備品が明示され、実習等に使用する「実習室-1」には、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を配備することが示された。しかしながら、工作機械が学生の近くに配備された状況で実習等を行うことは相応の危険が伴うことも考えられることから、学生が実習等に使用する実習室と工作機械を配備する場所を分けるなど、工作機械の適切な配置を含めて学生の安全に十分に配慮することが望ましい。</li> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・経済学部経営学科の収容定員超過の是正に努めること。</li> <li>・定員充足状況が悪化している組織があることから、法人全体として設置校の今後の在り方を検討し、定員未充足の不断の改善等に努めること。（麗澤大学国際学部グローバルビジネス学科）</li> <li>・赤字となっている収益事業について、収益の改善に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助言事項</li> <li>助言事項</li> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> <li>助言事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済学部 経営学科（廃止） ※令和6年4月学生募集停止 外国語学部 外国語学科〔定員減〕</li> <li>(△110)</li> <li>(△30)</li> </ul>
	私立 順天堂大学	薬学部 薬学科	180	千葉県浦安市	学校法人 順天堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・調整機関を介して薬学実務実習に必要な施設を適切に確保するとともに、同実習を開始する前年の6月末までに、「薬学実務実習に必要な施設の概要等を記載した書類」を遺漏なく提出すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> </ul>	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
4	(順天堂大学)					・遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。	助言事項	
5	私立 明治学院大学	情報数理学部 情報数理学科	80	神奈川県横浜市	学校法人 明治学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。</li> <li>・定員充足状況が悪化している組織があることから、法人全体として設置校の今後の在り方を検討し、定員未充足の不断の改善等に努めること。(明治学院大学国際学部国際キャリア学科)</li> </ul>	遵守事項  助言事項  遵守事項	
6	私立 金沢学院大学	情報工学部 情報工学科	100	石川県金沢市	学校法人 金沢学院大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。</li> <li>・経済学部経営学科の収容定員超過の是正に努めること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討を行い、定員未充足の不断の改善に取り組むこと。(金沢学院短期大学幼児教育学科)</li> </ul>	遵守事項  遵守事項  遵守事項  遵守事項	経済情報学部(廃止) 経済情報学科 ※令和6年4月学生募集停止  ※改正後の大学設置基準による学部等の設置  (△70)
7	私立 大阪経済大学	国際共創学部 国際共創学科	120	大阪府大阪市	学校法人 大阪経済大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見1への対応において、養成する人材像が具体的に示されたが、学生がその内容を十分に理解した上で授業科目を履修し、ディプロマ・ポリシーを達成することができるよう、時宜に応じた周知徹底を図ることが望ましい。</li> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> </ul>	助言事項  遵守事項	
	私立 大阪歯科大学	看護学部 看護学科	80	大阪府枚方市	学校法人 大阪歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> </ul>	遵守事項	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
8	(大阪歯科大学)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会及び評議員会において書面による意思表示を行っているが、寄附行為等に書面による意思表示に係る定めがないことから、適切に定めること。</li> <li>・完成年度における新設学部の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むとともに、法人全体でも経費削減に取り組むなど経営基盤の安定確保に努めること。</li> </ul>	助言事項  助言事項
計	8校	9学部 11学科					

(注) 「備考」欄の( )書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
1 私立	長野女子短期大学	幼児教育学科	50	長野県長野市	学校法人 長聖	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・専任教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目については、確実に教員を充足させること。</li> <li>・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。</li> <li>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>・内部監査組織について、監事を支援する体制の充実を図るため、内部監査組織の設置計画を着実に実行すること。</li> <li>・学校法人の財務状況が悪化傾向にある中で、新設組織開設後に予定する改組等の計画については、それに伴う法人経営の顕在的・潜在的なリスクの分析を十分に行った上で、経営基盤の安定確保及び経営改善に向けて中長期的な財務計画を作成し、必要に応じてその見直しを図ること。</li> <li>・法人全体の事務組織において、兼務している職員が多く、また法人事務局の職員は2名となっており、新設組織に関する業務が追加されるだけでなく、遠隔地にある設置校との調整を図ること等も踏まえると、一層の体制の強化が必要であると考えられることから、事務処理を適切に行うための事務組織の積極的な見直しを検討すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遵守事項 食物栄養学科〔定員減〕 令和6年4月名称変更予定 長野女子短期大学 → 長野短期大学 令和5年4月学校法人の合併による名称変更 学校法人長野家政学園 → 学校法人長聖</li> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> <li>助言事項</li> <li>助言事項</li> <li>助言事項</li> <li>助言事項</li> </ul>	(△5)
私立	京都光華女子大学短期大学部	歯科衛生学科 (3年制)	70	京都府京都市	学校法人 光華女子学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見1への対応において、ディプロマ・ポリシー④に定める「職業倫理観と責任感」を学生に修得させるため、「臨床隣地実習Ⅱ」の内容を一部見直したことが説明されているが、「審査意見への対応を記載した書類（6月）（資料）」資料2のカリキュラムチャートでは同科目がディプロマ・ポリシー③に対応した科目とされている。また、同書類の審査意見2への対応において、ディプロマ・ポリシー②に対応する科目である「生命科学の基礎」や「歯科診療補助研修Ⅱ」の内容についても一部見直しを行ったとあるが、カリキュラムチャートでは、「生命科学の基礎」はディプロマ・ポリシー③に、「歯科診療補助実習Ⅱ」はディプロマ・ポリシー①に対応した科目とされているなど、ディプロマ・ポリシーと科目の対応の説明に一部不整合が見られる。改めてディプロマ・ポリシーと科目の対応を整理するとともに、学生が各授業科目の目的等をあらかじめ理解し、本学科が目指す各授業科目の教育効果を達成する観点からも、オリエンテーションやガイダンス、シラバスの記載内容の工夫や周知等を通じて、これらの関係を学生が適切に理解できるようにすること。</li> <li>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</li> <li>・専任教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目については、確実に教員を充足させること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助言事項 ライフデザイン学科〔定員減〕</li> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> <li>遵守事項</li> </ul>	(△15)

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
2	(京都光華女子大学短期大学部)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>・開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。</li> <li>・定員充足状況が悪化している組織が複数あることから、法人全体として設置校の今後の在り方を検討し、定員未充足の不断の改善等に努めること。(京都光華女子大学こども教育学部こども教育学科、健康科学部心理学科、健康科学部医療福祉学科、キャリア形成学部キャリア形成学科、人間健康学群、京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科)</li> </ul>	助言事項 助言事項 遵守事項	
計	2校	2学科						

(注) 「備考」欄の( )書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

